

新館は7000平方メートルに31店

サントムーン柿田川 連絡通路で一体運営

ダイトウボウは24日、静岡県で運営している商業施設サントムーン柿田川で進めている新館の開発について発表した。新館の名称は「サントムーンオアシス」とし、全テナント31店のうち24店を先行発表した。開業は20年3月中旬を予定している。

サントムーン柿田川は97年に開業した広域型複合商業施設。商圏は立地する清水町と周辺の三島市、沼津市、長泉町から伊豆半島。開業から施設増強を重ね、現在はテナント面積5万9000平方メートルに129の店を構成する。

18年3月以降、第4期開発を

進め、新館の建設も含めた増床・リニューアル工事を行っている。新館は2階から連絡通路を設け、本館およびアネックスにそれぞれ接続し、「新館が架け橋となって一体的な空間になる」という。新館は20年1月に完工する予定だ。

新館のテナント面積は約7000平方メートル。31店のうち14店は静岡県東部地区を発祥とする店となる。地上3階建てで、1階は同地区初出店となる「ツタヤブックストア」を中心に、食物販や寝具専門店などを集める。2階はレストランゾーンを中心に、美容、ファッション雑貨を揃

える。3階はマックハウスが入るなど、キッズ・ベビーファッションとファミリーカジュアルファッションの大型店、アミューズメントスポットで構成する。12月には詳細を発表する予定。開業時期は当初の予定より約半年遅れる。このため20年3月期の業績は下振れを見込むが、「開業後の収支を保守的に見ていた」として、「現段階で業績に与える影響は軽微」という。